

低コストで手軽に館内放送をデジタル化! 「デジタル変調器」を5月から販売開始

フォーラム フロンティア ネットワーク(株)

フォーラム
フロンティア
ネットワーク(株)
代表取締役
渡邊敏樹氏



いま、レジャー・ラブホテルで館内放送システムのデジタル化が進み始めている。VOD「みるみる」を開発・提供するフォーラム フロンティア ネットワーク(株)は、低コストで手軽に館内放送をデジタル化できる、レジャー・ラブホテル仕様の「デジタル変調器」(HD / SD エンコーダ内蔵 OFDM 変調器・UDM-1080)を独自開発し、5月1日から販売を開始した。本稿では、その内容とホテルにとってのメリットをレポートする。

ラブホテルの現状に対応する 低コストで導入しやすい製品

レジャー・ラブホテルの客室内のTVは、以前から、単にテレビ放送だけではなく、リクエストビデオやカラオケなど多彩な映像エンターテインメントを提供してきた。同時に、リネンモニター画面などオペレーションに関わる映像情報も含め、さまざまな映像を映し出すことができる館内放送システムが構築されてきた。

これまでの館内放送システムは、各種映像ソースをアナログ変調器を通して同軸ケーブルで各客室に伝送しアナログチューナー内蔵のコンバーターで放送チャンネルを制御する共聴システム(CCTVシステム)を主流に構築されてきた(映像ソースと各客室を直結するスイッチングシステムを採用するホテルもあった)。

しかし、2011年7月に、地デジ放送(地上波デジタル放送)がスタートしたことで、さまざまな変更を余儀なくされる状況となったのである。

アナログTVを使用していれば、地

デジ放送はデジ・アナ変換器でアナログ信号に変換して放映。アナログ・デジタルの両チューナー内蔵TVなら、地デジ放送はデジタルで、その他の映像ソースはアナログで放映。現在、多くのホテルが後者、つまり客室TVは、デジタル映像とアナログ映像の2種類の映像を映し出す状況となっている。

しかし、デジタルとアナログの映像クオリティの差は歴然としており、TVの大画面化が進むことで、その差がさらに明確にわかるようになった。地デジ放送以外の各種映像ソースのデジタル化による画質向上が急がれているのだ。同時に、現状ではリモコンで地デジ放送とその他のアナログ映像を切替えなければならない手間もある。

このような状態を解決するには、館内放送システムの送信元で、従来のアナログ変調器をデジタル変調器に変える必要がある。しかし、これまでのデジタル変調器は、大規模なホテルや病院、学校など数百~数千台レベルのTVへの共聴システムを対象にした製品しかなく導入コストも数百万円かかるなど、10~50室のレジャー・ラブホテルに適した性能と価格の製品は存在しなかったのである。

このような状況に対し、フォーラム フロンティア ネットワーク(株)代表取締役・渡邊敏樹氏は「当社のポリシーは、ホテル客室における映像の機能・魅力・快適な使い勝手の追求。ホテルが必要とする製品がなければ、自社でつくるべきと決断しました」。そして「仕様の決定から、回路や基板の設計、ソフトウェア設計、筐体や付属品の選定まで、レジャー・ラブホテルでの使

用を前提にした製品の独自開発に取り組んだのです」と製品開発の経緯を説明する。

ラブホテルへの設置を 前提にした仕様で製品化

では、この「デジタル変調器」の具体的な特徴、ホテルにとっての導入のメリットを見ていこう。

①画質クオリティ向上

・地デジ放送以外の各種映像も画質クオリティの高いデジタル映像で提供。

②低コストかつ手軽な設置

・大規模施設向けのデジタル変調器に比べ1/10程度の価格を実現。さらに「みるみる」ユーザーにはレンタル提供も行なう。

・設置は従来のアナログ変調器と交換するだけ。プロスペックの送出能力により既設の共聴同軸ケーブルで使用でき、新たな通線工事は不要。

③操作不要

・電源以外のスイッチを排除。操作不要でスタッフの誤操作の心配がない。

④高耐久性

・放熱性の高い最新チップを使用。故障の原因になりやすい冷却ファンを使用せず、騒音もない。

・密閉型の筐体を採用し、ホコリの多い環境での使用にも対応。

⑤その他

・コンパクト設計で置き場所を選ばない。縦置き、重ね置きも可能。

もう1つ付け加えておきたいのが、同社がシティ・ビジネスホテル向けの館内放送チューナーの開発とサービス提供を10年以上行ない、実績も1,000件以上にのぼっていることだ。このノ

【従来の自主放送システム】
デジタル映像(地デジ放送等)→アナログ映像

【デジタル変調器による館内放送システム映像】
デジタル映像(地デジ放送等)→デジタル映像

バックヤードラックのアナログ変調器

※アナログ変調器の機能は一部になります。

交換するだけ! 簡単にHD高画質

※実際の製品デザインは変更になる場合がございます。

【デジタル変調器の方式】

- ①HDコンテンツを品位劣化なく送信できるHDデジタル対応型(⇒UDM-1080)
- ②HDアナログコンポーネント信号をデジタル変換して送信するHDアナログ対応型
- ③SDアナログ信号(VHS品質)を1chまたは4ch編成で送信するSDアナログ対応型

※現在、デジタル変調器には数種類の方式がある。現在の市場では「③SDアナログ対応型」が一般的だが、地上波デジタル放送より画質の劣るアナログ放送当時のクオリティ。

「重要です」お部屋のTVを買い替えた場合ご確認ください。
2011年7月以降に製造されたTVにはアナログチューナーが内蔵されていませんので現在ご利用のアナログ変調器はご利用になれません※1。デジタル変調器 UDM-1080 とお使いのアナログ変調器を交換いただければ、それだけで地上デジタル放送、館内デジタル放送、BS/CS 放送がすべて HD クオリティで全画面視聴頂けます。

※TVのリモコンでアナログチューナーの有無がわかります。※1 アナログコンバーターなどで変換した送信は可能です。

ウハウに VOD「みるみる」のノウハウも加えて開発された製品である。さらに、プロタイプを約1年にわたり実際のホテルに設置して作動確認が行なわれたうえで今回の製品化に至っているのだ。信頼性についても十分に安心できる製品といえるだろう。

※

現在の一般消費者は、自宅でも大画面TVでブルーレイの高画質映像を視

聴している。レジャー・ラブホテルで画質の低い映像を見てしまえば、それだけで時代遅れのイメージにつながりかねない。さらに、現在のホテル客室TVは、まだアナログ・デジタル両チューナー内蔵型も多い。しかし、現在の新製品はアナログチューナーを内蔵しない完全デジタルTVだ。そしてTVの買替えスパンは10年以上が多い。館内放送のデジタル化は否応なしに進

む。低コストで画質を向上させる館内放送デジタル化に取り組むうえで、同製品にぜひ注目したい。

【問合せ】
フォーラム フロンティア ネットワーク(株)
東京都千代田区飯田橋 1-12-15
九段大和ビル 4F
TEL.03-3262-5070
FAX.03-3262-5072
<http://www.ff-network.com>
<http://millmill.net>